

議会だより

笑顔のために



No.435

令和6年9月1日発行

表紙：星陵高校作成

表紙説明は裏表紙をご覧ください

目次 CONTENTS

- 01 表紙
星陵高校生徒さんが作成してくれました
- 02 目次
- 03 議会だより広報活動
北高生徒さんと意見交換を行いました
- 04 5月臨時会・6月定例会・7月臨時会の議決結果
35件の議案について審議しました
- 05 議決ピックアップ
一般会計補正予算に対して様々な意見がありました
- 06 議会運営委員会／常任委員会
- 08 特集記事 ネパール マンダン・デウプール自治体
友好交流提携するまちはこんなところ！
- 09 一般質問
20人の議員が市政に問いました
- 19 今後の定例会の予定など
- 20 表紙の説明／編集後記など



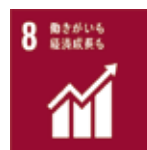
P12、P14、P18



P9、P12、P14、P15、P18



P10



P13



P11、P14



P9～P18



P18



P13、P17

P 9～18の一般質問について
SDG sの目標ごとに分類しました。
興味のあるページをお開きください！



議会だより編集委員会

議会だより編集委員が選任されました。
今後1年間このメンバーを中心に議会だよりを作成していきます。

◀左から、村瀬旬、中野健太郎（委員長）、山藤陽子、
臼井由紀子、仲亀恭平（副委員長）

あなたの声をお待ちしています

議会での質疑や議会だよりの内容等について、ご意見お待ちしております。



議会をネットでみよう

本会議のインターネット映像（ライブ・録画）を配信しています。



議会だより電子版

富士宮市ホームページから、議会だより電子版（PDF版）を見ることができます。



LINE 友だち追加

市公式LINEにて、議会に関する情報を発信しています。





▲最初は緊張した雰囲気



▲3～4人の小グループを作ることで、全員に発言してもらえました

富士宮北高校生 × 議会だより編集委員会

「議会だより」についてご意見伺いました！



▲議会だよりの率直な感想を伺います

議会だより編集委員会は、6月発行号の議会だより表紙を作成していただいた富士宮北高校を訪問し、議会だよりについての高校生の率直な感想を伺いました。高校生からは、

- ・回覧板だと高校生は手に取らない。学校で配布した方がよいのでは。
- ・高校3年生だけでもいいので、配ってみては。

など、たくさんのご意見をいただきました。

これをもとに、次号(9月1日発行)では、表紙に議会だよりバックナンバーにアクセスできるQRコードを貼り付けたチラシを各校にお配りできればと考えています。

これからも、高校生をはじめ、市民の皆様のご意見をもとに協議し、親しみやすく、かつ、わかりやすい議会だよりを作成していきます。



▲生徒さんの真剣な目が印象的です



▲楽しく意見を交わします



▲意見の共有



▲高校生の話を引き出します



▲少しずつなごやかに



▲意見の共有



▲最後に、全員で記念撮影！

高校生の皆さんに親しみを持っていただくため、議員はお揃いのTシャツで参加しました

5月臨時会・6月定例会・7月臨時会の議決結果

5月臨時会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
議選第1号	議会運営委員の選任について	決定
報第8号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第9号	富士宮市税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認 全会一致
報第10号	富士宮市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
報第11号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
議第38号	富士宮市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 全会一致
議第39号	令和6年度富士宮市一般会計補正予算(第1号)	//

6月定例会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
議請第2号	「再審法改正を求める意見書」の提出を求める請願	採択 全会一致
議選第2号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	決定
議決第2号	再審法改正を求める意見書の提出について	原案可決 全会一致
報第12号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第13号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第14号	令和5年度富士宮市一般会計繰越明許費繰越計算書について	//
報第15号	令和5年度富士宮市水道事業会計予算繰越計算書について	//
報第16号	令和5年度富士宮市下水道事業会計予算繰越計算書について	//
報第17号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第18号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
諮第3号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意
選第2号	教育長任命に関し同意を求めることについて	//
議第40号	富士宮市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 全会一致
議第41号	富士宮市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	//
議第42号	富士宮市民文化会館リニューアル工事(建築工事)請負契約の締結について	//
議第43号	(仮称)富士宮市富士根交流センター建設工事(造成工事)請負契約の締結について	//
議第44号	富士宮市立芝川中学校普通教室棟建設工事(建築工事)請負契約の変更について	//
議第45号	(仮称)山本高原公園整備工事請負契約の変更について	//
議第46号	富士宮市立富士見小学校屋内運動場改築工事請負契約の変更について	//
議第47号	財産の取得について	//
議第48号	財産の取得について	//
議第49号	財産の取得について	//
議第50号	市道路線の廃止について	//
議第51号	市道路線の認定について	//
議第52号	令和6年度富士宮市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 起立多数
議第53号	令和6年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議第54号	富士宮市民文化会館リニューアル工事(電気設備工事)請負契約の締結について	原案可決 全会一致

【賛否が分かれた議案】

案・結果	議員名 (議席番号順)	○は賛成。×は反対。																						
		近藤千鶴	岩村恵美	仲池恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	臼井由紀子	佐野和彦	小松快造	辻村岳瑠	芦澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也	
議第53号	令和6年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※	○

※議長は表決に加わりません

7月臨時会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
議第55号	令和6年度富士宮市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致

※議選＝議会で行う選挙や人事案件、報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件 の略。(2月定例会からの通し番号)

※詳しくは市議会事務局(電話22-1191)までお問い合わせください。

議選第1号 議会運営委員の選任について

議会運営委員会

委員長 辻村岳瑠、**副委員長** 佐野寿夫
委員 山藤陽子、臼井由紀子、小松快造、
 芦澤秀典、鈴木弘、植松健一

【所管する事項】

議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項

今回のポイント！ 議第52号令和6年度富士宮市一般会計補正予算（第2号）

今回論点になったのは、ネパールのマンダン・デウプール自治体（※）との友好交流提携に関する補正予算でした。具体的には、提携後に派遣する予定の富士宮市訪問団の旅費予算（職員等14人分）についてです。

※マンダン・デウプール自治体の特集は8ページです

議第52号に対する修正動議

※修正動議…原案に対し、議員が修正の提議を行うとき、提出する動議のこと

臼井由紀子議員、ほか7人の議員（近藤千鶴、岩村恵美、稲葉晃司、佐野和彦、小松快造、望月芳将、渡辺佳正）が修正動議を提出



【修正動議の内容】（臼井由紀子議員）

都市提携をするに当たっては、事前に職員が現地に行き自分の目で確かめ、状況を市長に報告した上で、富士宮市長が交流するのにふさわしい地域だと確信の持てる状況になった時点で結ぶべき都市提携と考える。

今回の修正動議では、職員3人が現地を調査するための旅費のみの計上とさせていただき、現地へ行ってからの提携をするべきである。

修正動議に対する討論

※討論…表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対か自己の意見を表明すること

交流で始まる都市提携

賛成討論（渡辺佳正議員）

都市提携はトップダウンではなく、市民・行政レベルでの理解促進から始めるべき。



交流都市提携の在り方

賛成討論（岩村恵美議員）

公金を使って行く以上、市民の理解と賛同を得られるようなものにしていただきたい。



ネパール国との提携！

反対討論（植松健一議員）

全権大使提案の友好都市提携は国策であり、ネパール国と当市との提携とも考えられる。



議第52号に対する修正動議に賛成する議員

【賛否が分かれた議案】

議案・結果	議員名 (議席番号順)														○は賛成。×は反対。							
	近藤千鶴	岩村恵美	仲亀恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	臼井由紀子	佐野和彦	小松快造	辻村岳瑠	芦澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也
議第52号 令和6年度富士宮市一般会計補正予算（第2号）に対する修正動議	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	※	×

※議長は表決に加わりません

修正動議は否決（賛成8、反対13）されたため、補正予算は原案可決となりました。

議会運営委員会

辻村 岳瑠 委員長コメント

令和7年7月からの議員貸与端末機（現在は iPad を使用）の機種選定と運用方法に関して委員会では Surface など他機種への切り替えと政務活動まで運用を広げ、且つ政務活動費から使用料を支出する提案が行われました。

これは効率化と公平性を目指すものであり、公正で透明な費用負担を市民にお示しするためのものです。

今後も市民のご意見に真摯に向き合い、より良い議会運営を進めていきます。



総務文教委員会

鈴木 弘 委員長コメント

最初に静岡県弁護士会会長梅田欣一氏より提出された「再審法改正を求める意見書」の提出を求める請願について審査しました。

袴田事件に見られるように、再審請求をしても、なかなか審理が進まない現状があります。そこで検察官の不服申立てを禁止するなどの法改正を求めるものであり、全会一致で可決されました。

次に、教育総務課より「富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」について報告があり、調査しました。

今後地域で説明会が開催される予定となっています。



環境厚生委員会

植松 健一 委員長コメント

今議会での所管事務調査として行った「公園整備事業について」では、今後整備予定の「明星山公園」、「城山公園」、「外神東公園」を現地視察し、当局より整備計画についての説明を受け、素晴らしい公園になることが期待できました。

「令和6年度プラスチックの分別収集について」では、本年4月から始まり2か月経過時点での収集状況及び現時点での問題点などについて、当局より説明を受けました。分別によりゴミ総量の減少が起きていることを確認しました。



▲明星山公園の調査



▲城山公園の調査

産業都市委員会

村瀬 旬 委員長コメント

今回は所管事務調査として、「市内におけるストックヤードの必要性」について、管理課から概要説明を受け質疑応答を行ったのち、現地調査を実施しました。

現地調査の内容は、丸工砂利販売株式会社の星山地内にあるストックヤードと、株式会社光建設の栗倉地内にある最終処分場の現地調査を行い、市内の現状を確認しました。

今後は、今までの調査研究結果を踏まえ、政策提言していく方向で政策課題を進めていきます。



▲丸工砂利販売での現地調査



▲光建設での現地調査

【特集記事】ネパール マンダン・デウプール自治体

友好交流提携するまちはこんなところ！

議第52号 令和6年度富士宮市一般会計補正予算（第2号）の審議では、市が友好交流提携を予定しているネパールのマンダン・デウプール自治体関係の予算について、多くの質疑が交わされました。

審議の中で、マンダン・デウプール自治体のことをもっと知りたいとの意見がありました。

今回の特集では、マンダン・デウプール自治体を市民の皆様にも身近に感じていただくため、紹介させていただきたいと思います。

富士宮→マンダン・デウプールまで



▲ネパール最大のトリブバン空港
空港は人々の大行列！



▲マンダン・デウプール自治体の
街並み



▲ナガルコットからの眺望
ヒマラヤ山脈の山々の美しさは圧巻。ナガルコットはヒマラヤ山脈の絶景スポットとして、多くの観光客から人気を博しています。
ベストシーズンは10月～3月。7月はシーズン外の季節という事もあり、天候が不安定で霧が発生します。



▲マンダン・デウプール自治体の
風景
自然豊かな風景が広がっています。花畑、緑の段々畑があり、綺麗な自然が楽しめます。農業が盛んで、お米、トウモロコシ、野菜など様々な農作物を生産している自給自足の地域です。



▲ネパールのソウルフード
「ダルバード」
お米、豆のスープ、野菜のおかずが一皿に。



▲マンダン・デウプール自治体庁舎



▲マンダン・デウプール自治体の
ようす



うえまつ
植松
(至誠)

けんいち
健一



富士宮市の教育について

問 不登校児童生徒が危機的に増加していることについて、どう考えるか。

教育長 コロナ禍となり実態が見えづらくなった時に対応が難しかったことが大きい。学校で人と人との関わり、つながりを強くするような活動はほとんど封じられ、子どもたちの学校に対する価値観が変わったと感じる。人と人とのつながりを元に戻そうということを今やっている。社会の構造的な変化もあり、これから不登校の子どもがゼロになっていくということは考えにくい。「誰一人取り残さない」学びの保障は市、県、国の責任であると思う。国は、そのところをどのようにケアしていくか学習指導要領にどのように盛り込むか検討している。今年の秋ころには、具体的な説明を各市町にする

予定になっている。

問 中学校部活動の地域移行の過程で中体連がなくなると子どもたちのスポーツに接する機会の減少や喪失につながるのではないか。

教育長 そのような可能性はかなりある。中体連という大会はなくなっても、何か企業の協力を得てそれに代わるような大会を富士宮市として用意でき、同じように県でも全国でも用意でき、子どもたちが一生懸命練習した成果を確認することができるような方向で部活動の在り方も考えていきたい。

問 富士宮市の義務教育の特色は。

教育長 本市では「子ども一人ひとりかけがえのない存在であること」を教育活動の根底に置き、「富士山を心に夢を持って生きる子ども」の育成に取り組んでいる。自ら課題を見出し自分なりの考えをもって多様な仲間と協働しながら最適解を見出す学びはこれからの時代を生き抜くには欠くことができない。こうした「生きる力」の育成に真摯に取り組んでいる。



なかがめ
仲亀
(無会派)

きょうへい
恭平



大声で恫喝、土下座を要求。社会問題となっている「カスタマーハラスメント」防止へ！カスハラに対する富士宮市の取組について。

問 「カスハラ対策マニュアル」策定の考えは。

部長 今年度から職員向け対策マニュアルの作成に着手する。



問 対応の在り方について。

部長 キーマンになるのは所属長と考える。

問 「カスハラ」についての調査。

部長 不快な思いや怖い思いをしたことがある職員が約 22%。

「名前を SNS で検索された」

「自宅住所を調べられた」

「お前の家族がどうなっても知らないぞと恫喝された」

問 カスハラ行為「長時間の拘束」。

部長 時間的な部分は慎重にやる。

副市長 「しっかり説明」「優しい対応」が前提。

問 カスハラ行為「暴言」。

部長 録音機能付き電話、ICレコーダーで対応。

問 チェック体制について。

部長 所属長への「報連相」を徹底する。

**もう忘れない！「ごみの日」を教えてください
る便利なサービスを提案**

問 富士宮市 LINE メッセージを活用し、

「明日はプラスチックの日です」

「今日は缶の日です」

等お知らせするサービスを実施してはいかがか。

部長 お知らせするという方向で進めていく。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)



本庁舎清掃業務委託業者の倒産に伴う従業員の給料未払いについて

問 倒産に伴う市の損失額はいくらか。

部長 市の損失はない。

意見 結果的に従業員が給料未払いという形で背負ってしまった。いつも立場の弱い人たちにしわ寄せが来る。自分事として考えてほしい。

問 破産宣告の通知が来て、後任が決まるまで、誰が清掃をやっていたのか。

部長 後任が決まるまで誰が清掃していたのかは、雇用関係のある会社とのやり取りになる。

問 いくら市民の契約で市は関与していないと言っても、そこに愛はあるのか。

副市長 愛ある対応をし、従業員に声掛けした。しかし、法務、法規の立場でいうと民と民の問題でそのことに尽きる。

国際交流の成果と評価について

問 年間に33日間も市長が富士宮市を空けること、須藤市政に入り3都市目の国際都市提携、スペインも加わり、国際交流は解消が難しく、慎重にならなければならないと思うがいかがか。

市長 決して多くも何でもない。当たり前の話。総合計画を履行している。大変重労働。

問 成果が市にどのように寄与しているか。

部長 市民のシビックプライド醸成に寄与。

問 報告書を見て、成果や展望などが書かれていない。学生の交流は台南市は一度もない。市民レベルの交流も考えられない。市民はどこの都市が国際交流都市なのか知らない。行政間の交流の域を超えていない。とても大きな成果があると私は思わないがいかがか。

副市長 国際交流については、世界中に友だちがいるのだという施策。アジアを勉強する機会をこども、社会人に伝えることになった。

意見 議会の8人の修正動議を重く受けとめ、市民に理解してもらえるようにしてほしい。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)



宮バス・宮タクを活用してもらおう施策について

問 次期富士宮市地域公共交通計画作成について伺う。

部長 今の「宮バス」は循環型になっている。利用する方の不便性もある。大きなバスでなく、もう少し小さなワゴンタイプを検討。今の「宮バス」、「宮タク」とは違う体系を考えている。



市長 あと何年か先には、「宮バス」は残っているかどうか、存在しているかどうかということも分からないような状況である。「宮タク」主体になりはしないかと思っている。

パートナーシップ宣誓制度について



問 申請する側の立場から考えると、「住民票の続柄(つづきがら)を縁故者に変更」の項目を設けた方が良く考えるが、市の考えを伺う。

部長 今回、議員ご指摘の通り、項目を設けることで宣誓をされる方にわかりやすくなることから、県のホームページのパートナーシップ宣誓制度における富士宮市の行政サービス一覧に項目を追加した。

緊急時浄水装置の活用について

問 緊急時浄水装置の訓練について伺う。

部長 特に訓練として行ってない。今後、地区担当班職員を対象とした資機材取扱訓練の中で、操作方法等の確認を行う予定。



さの かずや
佐野 和也
(明和)



富士宮市内における太陽光発電施設について

問 大岩の出水地区に計画されている太陽光発電施設は、抑制区域内ではないのか。

部長 抑制区域内ではない。

問 富士宮市 HP で公開されている抑制区域を示すマップでは、抑制区域に該当すると思うが市の見解はどうか。

部長 議員が御指摘のとおり、絵を見る限りではこの地域がエリアの中に入っているというふうに見てとれるというのは私も認めているところ。この資料しかないということで誤解を招く形になってしまっている。

副市長 ホームページの見せ方、見え方が少し良くなかったのではないかと思います。市民がこういうものを見たときに、丸が外だ、中だと感じてしまうような見え方をしていたというところ

は反省点だと思うので、条例の法規範がより分かりやすく市民に伝わるように努力をしていきたいと思う。

市長 地域住民の賛同なくして太陽光発電を設置することは適当ではない。この太陽光発電には市長として同意しないと判断している。

問 太陽光発電のための森林伐採について。

教育長 調和ということが大事だと思う。わざわざ危険な状況をつくるような森林伐採をして災害が起きたり、環境に悪影響を与えるということは教育的ではないと考えている。

問 今後の業者への対応について。

部長 今回の大岩地先で計画されている太陽光発電設備設置事業については、計画業者から去る6月21日にメールにて本事業計画について中止の意向をうけた。

意見 「富士宮市富士山景観等の条例」の中で、「市長は必要があると認めるときは抑制区域を変更することができる」と書いてある。今一度見直しをしていただきたい。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)



特殊詐欺から身を守るには

問 市役所を語る特殊詐欺もあるが、市民のセキュリティをどのように構築していくのか。

部長 防犯まちづくり講座があり、10人以上の団体に被害防止対策を説明し、今後も講座を通じ市民のセキュリティ意識の醸成に努める。

問 市から送付する書類等に、本当かどうかの証明をつけることはできないか。

部長 現状で市から送付する文書全てに市の証明を付けることは困難である。市役所の代表番号から担当課に繋いで確認をとるのが確実。

問 小中学校の教育ではどのような指導が取り入れられているのか。

教育長 小学校では情報社会の危険から身を守り不適切な情報に対処できること。中学校では情報セキュリティの基礎的な知識を身につけ、

セキュリティ確保のための対策、対応が取れることを目標としている。

現状に見合った補助金、助成金及び奨励金にするために

問 ごみの集積所に対する補助金があるが、時代を鑑み補助額を増やす検討を行えないか。

部長 ゴミ集積所設置等助成金は、富士宮市環境衛生自治推進協会が実施している事業のため要望として伝える。

(仮称) 宮町神田川遊歩道の活用を考える

問 西側に参道と駐車場があるが、なぜ遊歩道でなければ駄目だったのか。

部長 遊歩道のほか、案内所やミニ公園等検討したが、駐車場内の事故の危険性、イベント時の歩行者だまりの確保、樹木の落下による事故の危険から遊歩道にした。

市長 あの遊歩道は結構通っていて、みんなから喜ばれている。理解していただくように佐野議員から説得してほしい。

要望 市民の笑顔のために整備してほしい。



つじむら
辻村
(明和)

たける
岳瑠



ケアラー支援条例制定について

問 当市もケアラー支援条例を制定し、ケアラーへの支援を充実させることで安心して暮らせる社会を実現できると考えるが、いかがか。

部長 ケアラー支援条例の制定は現時点では考えていない。重層的支援体制整備事業の多機関協働による支援で複雑化、複合化した福祉課題の解決に取り組む。

意見 歴史的にみても初めて体験する大介護時代、保健福祉部だけで取り組むのではなく、社会福祉が社会インフラの一部であるといった意味で、市民一丸となる理念でケアを与える側への支援が必要だと考えるが、いかがか。

葛飾北斎「山下白雨」の活用について

問 山下白雨は富士宮から描いた説がある。町のシンボル、アート思考を育み学びの機会に提

供できないか伺う。

市長 私は、この絵を観て、剣ヶ峰、左側の稜線から、富士宮から描いたものだと思っている。

副市長 富士山は信仰の対象、芸術の源泉である。北斎の絵が身近となるきっかけになる。勝手連的な市民活動も含めて応援出来たらと思う。

教育長 芸術鑑賞の機会を再度学校に周知するとともに、積極的な参加勧奨を進めていく。

国道469号精進川工区、工事未着手について

問 工事着手が延期になった理由と今後工事着手を確実にするための対策について伺う。

部長 すべての用地買収に至らなかったため。しかし、全体計画の中では大きな遅れではないと県は判断している。国、知事に首長と連携し予算確保を特に強く訴えていく。

副市長 国の社会資本整備総合交付金の内示が少ないというのが全体的な傾向である。市長を中心に要望していきたいと思っている。



あしざわ
芦澤
(明和)

ひでのり
秀典



小学生のランドセルについて

問 今後の取組について。

教育長 令和5年4月より、国語・社会・算数・理科・英語の5教科についてデジタル教科書を導入、端末を利用してデジタル教科書を活用して家庭においても学習できるようになった。今後も効果的活用について研究を進め、ランドセルの重さの軽減に活用したい。

富士宮市内の道路事情について

問 市内には、消えたり見えにくくなったりしている路面標示や、ひび割れているような道路があることを市は認識しているか。

部長 富士宮市内の市道は全延長約1,180km、どこの路線のどの標示が薄くなっているか、どこにどのようなひび割れが生じているのかがリアルタイムには把握できていない。見えにくい路

面標示については、道路パトロールや地区要望などで確認でき次第、順次対応。令和4年度からライン通報による情報収集を、6年度から道路パトロールを週2回2班体制で行い、できる限り適切な維持管理ができるよう努めている。

中高生の海外派遣事業について

問 中高生の国際交流や研修のために人材を海外へ派遣する事業について。

部長 中学生対象事業については、異文化に触れることで国際社会に対応できる積極性を養うとともに、英語力の向上を目的に、英語圏の国ニュージーランドのオークランド市に派遣している。高校生対象事業については、国際理解意識の醸成を目的に、令和5年度はベトナムのホーチミン市を選定した。費用については、渡航費用の半額を補助、就学援助制度適用家庭等については渡航費用の全額を補助。選抜方法については、作文と面接により審査。今後も、中学生・高校生の海外事業を継続し、より多くの生徒に海外経験の機会を提供していく。



こまつ かいぞう
小松 快造
(富岳会)



富士宮市の農業について

問 ①市内の畜産農家は円安による輸入飼料や光熱費の高騰などで厳しい経営状況との声が聞かれるが、市は何か対策があるのか。

②農業従事者不足、後継者問題について市はどのように考えるのか。

部長 ①市では、令和4年度と5年度に、粗飼料価格高騰対策として値上がった価格の一部の金額を補助してきた。また、米の収穫後に田んぼの中に混ぜて耕される稲わらを回収し、牛の餌として使用、代わりに、田んぼの肥料として畜産農家が作った堆肥と交換する事業を令和5年度から実証実験を行っている。稲わらを餌として使用した場合の栄養分や好みなどを研究し、事業化を進めたいと考えている。

②農家に対しアンケートを実施したところ。自



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)



明星山公園の再整備について

問 公園の魅力向上へ、官民連携手法のパークPFI制度の導入が効果的ではないか。

部長 公園の価値を高め、柔軟に使いこなすため大変有効な手段。事業者に整備、改修、維持管理費が生ずるため、市内公園で効果的に活用できるか、今後も研究していきたい。

問 地元の意見要望の一つで、黒田貫戸線以外に歩いて行ける赤道といったアクセス道路の整備があったはずだ。

部長 まずは皆さんが来られるよう黒田貫戸線の整備に全力を挙げている。環境部、都市整備部で話し合い、必要があれば検討していく。

※パークPFI制度…都市公園において飲食店、売店等の収益施設の設置または管理を行う民間事業者を、公募・選定する制度

身の農地で農業をする人が減っている。農業の基本を学べる「農具学習体験講座」を開催。農業を始めるきっかけづくりを行っている。

持続可能な地域コミュニティの在り方

問 自治会活動の課題認識についてどのように考えるか。

部長 近年、自治会を取りまく環境は大きく変化しており自治会活動に影響を及ぼしていると認識している。コロナ禍で自治会活動の縮小が余儀なくされ住民同士が顔を合わせる機会が減り、自治会活動の再開に影響を及ぼしていると考え。令和3年4月施行の高年齢者雇用安定法の改正で、70歳までの就業確保措置が求められたことにより65歳以上でも働く人が多くなり、自治会役員の担い手不足に拍車がかかった。市では、自治会への負担を軽減させるべく、副市長を委員長とする庁内横断的な組織を立ち上げ、負担軽減のための検討を始めた。今後も、持続可能な地域コミュニティのための自治会活動に対し区長会連合会と連携し支援していく。

人口減少社会における業務改善について

問 富士宮市職員の時間外勤務、ストレスチェック、事務事業の総数の推移は。

部長 令和5年度は、一人当たりの年間平均時間外勤務が平成27年度比で26時間増。ストレスチェックの高ストレス者は令和2年度比で4.1ポイント増。継続して行っている事務事業(業務フロー)は令和3年度比で220件増えた。

問 DX化を進めていてこの数字。人口減少の観点から次期総合計画に盛り込み、庁内全体で改善に取り組むべきと考えるが。

部長 効率的、効果的な行政運営が必要。業務プロセスの改善は具体的な成果が出ていないが辛抱強く取り組み、応える計画を策定したい。

問 公共の関与の是非を念頭に、新事業を行う場合は既存の事業を見直して肥大化を防ぐスクラップ・アンド・ビルド手法を導入しては。

部長 業務改善を一層前進させることは重要。スクラップ・アンド・ビルドの考え方を視野に入れ、時代に合った制度の導入を研究していく。



ひらした
平下
(明和)

なおき
尚己



富士宮市の野球及びソフトボール環境の改善について

問 軟式野球及びソフトボールの市内の競技人口は県内他市と比較していかがか。

部長 軟式野球：競技人口4位、人口比率1位。ソフトボール：競技人口4位、人口比率3位。

問 軟式野球及びソフトボールの使用できるグラウンドについて。

部長 軟式野球は明星山公園野球場他7施設。ソフトボールは静岡県ソフトボール場他6施設。

問 グラウンドのメンテナンスや維持管理について。

部長 指定管理者が適宜整地している。大規模な改修は市で対応している。

問 付帯設備（ダッグアウト、フェンス、ベンチ、トイレ）の整備状況について。

部長 多くの施設において付帯設備の老朽化が

進んでいる状況。大規模な改修については、優先順位をつけて実施している。

市長 芝川スポーツ広場について土を入れ替え、トイレも改善予定。フェンスも高さを検討。上井出スポーツ広場についてもトイレが老朽化しており、市内の球場をチェックし、安心・快適にプレーできるように改修していきたい。

部長 上井出スポーツ広場のトイレは建替え含め計画中。芝川及び物見山スポーツ広場のベンチ、ダッグアウトについてすぐに対応したい。

「知的財産推進計画 2024」を活用した富士宮市の観光施策に関する費用対効果とアプリ導入の検討について

問 観光施策の課題を解決するための専用アプリ開発などへの補助の可能性はいかがか。

部長 市単独の補助は現在考えていないが、国の計画を踏まえ、条件、内容等が趣旨に沿ったものであれば、国の補助金制度の対象になることも考えられる。



もちづき
望月
(無会派)

よしまさ
芳将



富士宮市立病院と地域医療の今後は

問 市立病院の医療環境在り方検討の進め方について。

部長 市立病院は建設から38年経ち老朽化が進み、また、人口減少、医療制度改革、人材不足、デジタル化、新興感染症などの課題への対応とともに今後も地域医療の中核病院として維持していかなければならない。そこで、今後の病院事業として求められる医療環境や必要な機能や施設の在り方について調査検討を行う。この調査検討は、病院事業に精通している医療コンサルタント会社に業務委託を行う。本年8月にプロポーザル方式によって業者選定を行い契約し、9月から翌年3月まで業務実施を計画している。この調査で当院の状況を明確化させ、建物の在り方も含め検討していく。

問 市として、地域医療の方針を立てた上で、病院の在り方を検討していくべきではないか。

部長 地域医療は、行政としての市、公立病院、医療機関である医師会、歯科医師会、薬剤師会、県の機関である保健所の4者が連携し、協議し決定していくものと考えている。

問 富土地域の医師不足によって（医師の偏在）、救急搬送も富士市や医療圏外に搬送している事案が多くあるが、そのことを認識した上で、市立病院の在り方が、市立病院だけの問題でなく捉えていただきたい。

市長 遅れをとらないように、財政的な裏づけを確保しながら、頑張っていく。

小中学校の保健室の使用状況と保健師の配置について

問 学校への保健師の配置は考えられないか。

教育長 看護師や保健師の人材不足のため困難。こどもの心身の健康課題も複雑化している。コミュニティ・スクールの導入が予定されているため、地域や保護者の協力を得て推進したい。



すずき
鈴木
(至誠)

ひろむ



移住・定住施策と農山村地域の関係について

問 移住定住推進地域または農村地域への移住者の世帯数を伺う。

部長 令和5年度に移住定住推進地域に移住した世帯数は2世帯4人で、その内訳は青木平区、猪之頭地区ともに1世帯2人。農村地域への移住については、市街化区域に48世帯、市街化調整区域に11世帯、農業を目的に移住した方はいない。

問 二地域居住というスタイルが国により推奨されているが、市の考えはいかがか。

部長 日本の総人口が減少傾向にある中、二地域居住をする人が増えれば、1年のうち一定期間だけでも居住者を増やし、ひとの流れを生むことができる。本市の魅力や暮らしを知り、行事やイベントに参加してもらうことで、人材の

確保や経済の活性化、地域コミュニティの維持など、地方が抱える課題の解決につながる可能性があると考えている。

少子化対策の一要因としての婚活事業について

問 ふじのくに出会いサポートセンターしずおかマリッジについて伺う。

部長 5月末時点での県下全体の会員数は1,054人で、男性642人、女性412人。富士宮市民は33人で男性25人、女性8人。令和4年度から令和6年5月末までの成婚数は、55組110人、うち富士宮市の方は1人となっている。

問 社会福祉協議会の結婚相談所の成果について伺う。

部長 令和3年度は相談件数807件、成婚数2件、令和4年度は相談数850件、成婚数1件、令和5年度は相談数776件、成婚数1件。

意見 結婚を望むがチャンスに巡り合わない人たちに、行政として寄り添うことはとても大切なこと。婚活事業に更に力を入れるべき。



いわむら
岩村
(無党派)

えみ
恵美



日本の水を汚染しているPFAS（有機フッ素化合物）に関する富士宮市の対応

問 市が実施した調査と調査結果について。

部長 潤井川のくすのき橋2.6ng/l、芝川の横手沢橋2.0ng/l、芝富橋2.3ng/lの3地点で調査を実施。暫定目標値の50ng/lを下回っている。

問 河川や水道用原水の調査も問題なかったということであるが、これらの調査結果を市民が簡単に閲覧できるようにすることは可能か。

部長 県が実施した河川調査の結果は県が公表しているが、市のホームページにおいても県の情報をまとめて掲載したいと考えている。

問 今まで問題にならなかった物質が国から検査するように求められた場合、各々の部署があるが、どういう情報管理、情報共有、共通認識を持つのか。

副市長 今、部長会議というものを頻繁に行っている。その中で、今起こっていることをみんなでも共有しようと。自分事として自分の部に置き換えたならどうなのかと意識をもって取り組んでいる。

意見 私たちが積み重ねてきたツケを誰が払わされていくのか、便利、簡単、安価なものを求めた結果、今どうなっているのか。日本全国の水は本当に安全で美味しい水なのかどうか、しっかり考えて対策しなければならない。

市内小中学校の英語教育について

問 小学校外国語専科教員は、現在何名いるか。

教育長 現在市内小学校では、県費の加配教員として、英語の教員免許状を持つ専門性の高い専科教員5名が配置され、週24時間の授業を担当している。固定が1名、複数校兼務が4名。

問 毎年英語圏への海外研修を行っているが、研修先及びカリキュラムはどのようなか。

教育長 イギリスの私立の語学学校に、毎年2名～3名の教職員を派遣している。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)



防災・減災対策の現状と課題について

問 被災者生活再建支援システムの導入は。

部長 平成27年当時導入の検討をしたが導入費用・ランニングコストなどを考慮した上で、一端は導入しないと結論付けている。が、今後は改めて導入の検討を再開すべきと考えている。

問 感震ブレーカーの設置費の補助拡充は。

部長 今年度は能登半島地震の影響もあり、年度当初から申請が多く、予定の40件に達した。プラス50件増額したがそちらも終了した。

市長 当初予算分が終了、追加分も終了。申し込みがあるならば、青天井で全部対応していきたい。一刻を争う問題なのでしっかり行いたい。

LED防犯灯の今後について

問 蛍光灯からLED防犯灯に取り替え推進して10年となる。LEDの寿命が10年と言われ、

交換する時期に来ている。LEDユニット交換に対する補助はあるのか。

部長 現在は補助対象になっていない。

問 自治会からの要望はあるのか。

部長 落雷などの故障で修繕費を補助してもらえないかという要望はあった。

問 今後の方向性についてはどうか。

部長 平成27年度から自治会が管理する防犯灯をLED防犯灯に取り替える補助金を交付してきた。令和5年度末でLED化率95%を超えている。今後防犯灯の更新事業が増加すると予想されるため、修繕等も含めた補助金の交付内容を関係課と協議していきたい。

問 補助金の検討は令和7年度以降か。交換条件はあるのか。

部長 令和6年度中にすぐに対応するように市長からの指示があり動いていく。交換条件は特に設けない。

※その他、朝霧さわやかパーキング北側地の観光客による交通支障の危険性を質疑した



いなば こうじ
稲葉 晃司
(無会派)



富士宮市水道事業を問う

問 富士宮市水道ビジョンについて伺う。平成28年4月の策定からこれまでの進捗状況と主な事業はどのように推移しているのか。

部長 現行の水道ビジョンに示している今後10年間の計画している5つの事業のうち、1つ目の導水管の更新事業（内野取水場～北山浄水場）は平成28年度から令和2年度までの5年間をかけて全長3.2キロメートル全ての耐震管路への更新を完了。2つ目の施設耐震化事業では市内の約80か所の配水池があり、令和5年度末における配水池等の耐震化率は78.6%である。この10年間で耐震化率は25%上昇し、令和7年度末時点の目標値80%は十分に達成できる見通し。3つ目の管路更新事業では水道管路耐震化の進捗率は、本市の主要な基幹

管路約191キロメートルのうち耐震適合性のある管路は約88キロメートルで、令和4年度末における耐震適合率は45.9%であり、法定耐用年数の40年を超えた老朽管割合は令和4年度の時点で19%になる。老朽管の布設替え、耐震管路の更新は毎年計画的に実施しているが、近年は資材の高騰や労務単価上昇の影響などを受け、年間の施工延長実績としては5キロメートル程度になっている。4つ目の水源開発事業は、災害リスク等を踏まえたバックアップ機能の強化策として、複数の水源開発を計画し北山浄水場系統における水源の強化を最優先に行い、令和4年度までに3つの候補地を選定し水量、水質を確認しながら水源開発を行っている。5つ目の設備更新事業では、老朽化した施設設備の更新を計画し、各種点検業務による成果などを基に、ポンプ設備や排水を制御している電気設備など故障した場合に、断水のリスクが高いものを優先して順次設備の更新を行っている。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(無会派)



外神東公園の再整備は、市民の意見と歴史を大切にしながら進めるべき

問 市民の意見・要望を設計にどう反映させて、十分な計画性を持って進められているのか。

部長 外神東公園については、ベンチが欲しい、トイレが使いにくいなどの意見があるので、整備に反映していく。

問 外神東公園は、大規模な伐採・造成で公園の様子が大きく変わる。外神城の石垣を残してその上に遊具の設置を検討するなど、市民の意見を丁寧に聞いて欲しい。

市長 外神城の周辺は木が大きくなって暗ぼっとなり、こどもも大人も近づかない。

意見 定期的な間伐などで光が差す、風が通るように維持管理ができていれば、歴史を感じさせるよい公園になる。

問 外神東公園周辺の空気を駐車場にするように、地権者と協議できないか。

市長 地権者と相談してみる。

明星山公園の再整備は、市民の意見と貴重な自然に配慮して進めるべき

問 市民の意見をどう設計に反映させているのか。

部長 市民団体から、頂上付近に構造物を設置してほしくないという要望書が出されている。山頂の希少植物に配慮して進めていく。

問 明星山公園の最大の売りである山頂からの360°パノラマ展望を確保するために、てんぐ巢病に冒された桜の木をどうするのか。

部長 病気で駄目な樹木はしっかり管理して展望を確保できるように努めていく。

要望 市内の他の公園についても、病気に強い桜に植え替えていくことを進めて欲しい。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)



友好都市との交流事業について

問 国際交流の友好都市提携に関して一定の基準があればスムーズにいくのではないかと。

副市長 都市提携の関係というのは友人関係、富士宮市には沢山の友人がいるのだという友人関係の構築。それぞれの経緯があり、それぞれ所管があるように目的も違う。都市提携の中に一律の基準チェック事項にあつたら提携しようというのはなじまない。都市提携において一律の基準を策定しようという考えは現在ない。

こどもの居場所支援事業について

問 福祉部門と教育部門との連携についての当市の計画はいかがか伺う。

部長 こどもの居場所づくりを含めたこども・若者への支援を進めていくため、富士宮市こども・若者支援推進本部を立ち上げたところ。当推進本

部ではこども家庭統括監を本部長、教育部参事を副本部長とし、保健福祉部及び教育部のこども・若者関係課各々の課長級職員により構成される本部会と各々の部課の現場担当職員により構成される幹事会を開催する予定。各機関の連携体制で出た意見を現在策定中のこども計画に反映させ、こども・若者への支援施策であるこどもの居場所づくり事業についても当推進本部において協議検討し計画的に進める。8月に実施される総合教育会議の場において居場所づくり事業についても話し合っていく。

公共施設のWi-Fi環境、携帯電話の電波状況について

問 「繋がる＝安心」という現状において改善をしていく計画はあるか伺う。

部長 フリーWi-Fiを設置しても設置しなくても改善できる方法と可能性はある。各施設の要望があれば最終的にデジタル推進課でも検討していく。



やまふじ
山藤 陽子
(公明会)



市民の健康促進のための施策（健康教育の推進、健康遊具の設置等）について

問 フレイル予防講座の高齢者への効果は。

部長 体力測定やアンケートから、体力や筋力アップ、バランス能力の向上、痛みの改善、人と会うのが楽しくなる、自分の体に自信がついた、食事のバランスを考えるようになった等、介護予防につながる声が多く聞かれている。

問 健康寿命を延ばせているのか。

部長 本事業がすべての要因ではないが、令和元年度と令和5年度を比較すると男性が79.3歳から80.3歳に。女性は83.9歳から84.8歳と男女とも延びている。

問 今後、各公園に健康遊具を設置する予定はあるのか。

部長 現在市内の公園やスポーツ広場の7か所

に健康遊具が設置してある。遊具を安全に設置できる場所が必要。設置する機会があれば積極的に導入している。

市長 市内全域を一遍再調査して、積極的に健康遊具をお年寄りのために設置するように重点目標としてやっていきたい。

小中学校の防災教育（命を守るため）の取組について

問 こどもたちの防災教育で、ぼうさい甲子園、ぼうさい探検隊、防災教育チャレンジプランに取り組むことができるか。

部長 これら3つの事業は防災意識の啓発や知識の醸成に資することが期待でき、当市のこどもたちも応募できる事業であることから、こどもたちに届くように周知していく。

問 こどもたちが自分の命を守るため、自分で生きるために考える力を持つためには。

教育長 自然災害について正しい知識とそれに基づき行動することが必要。教育活動全般を通して育てていきたいと思う。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)



西富士用水簡易水道等について

問 経緯経過について。

部長 昭和20年代に農林省により整備され、給水施設は農林省から富士宮市に移管された。当時、富士宮市助役を委員長とし、富士開拓農業協同組合を中心とした富士宮市西富士用水管理委員会が維持管理、運営を行ってきた。

問 運営状況について。

部長 使用量が30年間で約18%減少。今後耐震管への切りかえ等、厳しい状況が予想される。料金改定を行うなどの対策を講じながら、安定した運営に努めていくと伺っている。

問 西富士用水簡易水道を上水道と統合しようとした場合の課題について。

部長 国・県等との協議を行い、加えて老朽化施設の更新方法や使用料金等の金額差の問題な

ど、関係部署と検討が必要になる。

生ごみ処理機「だっくす食ん太くんNEO」の検証と当市のごみ減量について

問 なぜ継続運用が困難になったのか。

部長 売上が伸び悩んだこと。土壌改良剤が1、2年ほどの使用期限であり、入替れの必要があるなどの問題が生じ販売終了に至った。

問 生ごみの水切りを推奨しているが、その評価と搬入量の現状は。

部長 生ごみの割合は年度により増減がある状況。市としては、平成28年度から行っているごみダイエットプロジェクトで、生ごみの水切りや食品ロス削減を広報紙やSNS等を使い呼びかけており、引き続き生ごみの減少などについて呼びかけを行っていきたいと考える。

外神東公園のつどいの広場東側のトイレを改修することについて

問 トイレを改修することについて。

市長 誰もが使いやすいようなトイレに、建て替える方向でしっかりと直していく。

9月定例会の予定

9月13日(金)～10月18日(金)

日	月	火	水	木	金	土
9/8	9	10	11	12	13 開会	14
15	16	17	18 審議	19 総務	20 環境	21
22	23	24 産業	25	26	27	28
29	30	10/1	2 決算	3 決算	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15 一般質問	16 一般質問	17 一般質問	18 一般質問 審議	19

11月定例会の予定

11月21日(木)～12月6日(金)

日	月	火	水	木	金	土
11/17	18	19	20	21 開会	22	23
24	25 審議	26 総務	27 環境	28 産業	29	30
12/1	2	3 一般質問	4 一般質問	5 一般質問	6 一般質問 審議	7



インターネット中継でも視聴できます。
是非ご利用ください。



※審議…議案審議、総務…総務文教委員会、環境…環境厚生委員会、産業…産業都市委員会、決算…決算審査特別委員会

◆定例会中は上記以外にも、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。

TEL:0544-22-1191

富士市議会との合同勉強会

富士宮市議会は富士市議会と合同勉強会に参加し、視察と意見交換会を行いました。

視察では、富士市西部浄化センターと富士市東部浄化センターを訪問し、センターの職員から詳しい説明を受け、意見交換会等を行いました。



▲富士市東部浄化センターでの説明

静岡県市町議会議員研修会

県下の全市町の議員が一堂に会し、経済ジャーナリストで作家の渋谷和宏氏の「激変する2024年の日本経済、コロナ後に輝く地域・リーダーの条件」と題した講演会を聴講しました。



▲研修会場

山口県岩国市議会の視察受入れ

岩国市議会の議会広報特別委員会が、富士宮市議会だよりの取組を参考にしたいとのお越しを歓迎しました。

今後も他市が参考にさせていただけるような議会広報の作成に尽力してまいります。



▲お出迎えのようす



表紙の説明 & 作者高校生紹介

表紙作者紹介



▲写真部部長の岸野航河(きしのこうが)さん

星陵高校写真部では、自身の撮影技術向上を目指し日々活動に励んでいます。今回はドローンの技術を楽しみながら共に学んでいくことをイメージして撮影しました。星陵では、ドローンの操縦を体験したり、実際にドローンで撮影をして配信したりしています。

題字「笑顔のために」作者紹介



▲書道部の芹澤咲希(せりざわさき)さん

この「笑顔」から秋の訪れを感じられるよう、全体的に柔らかい雰囲気を意識して書きました。

今回号の表紙は、星陵高校生徒さんに作成していただきました。次号(12/1発行)は富士特別支援学校富士宮分校の生徒さんが作成してくれます。乞うご期待ください!!

校風紹介(学校紹介)

星陵高校には、普通科、英数科(英数コース、総合コース、中高一貫コース)とそれぞれ魅力ある科(コース)があります。特徴ある科(コース)の中で生徒たちは育ち、それぞれの希望や特性に応じた進路へ歩んでいきます。星陵生は、校訓「誠友敵(誠実な心で事にあたる・友情の和を広げる・敵しさを自ら求める)のもと、切磋琢磨して学校生活を送っています。

また、毎年開催される星陵祭も魅力の1つです。今年は、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代を恐れず歩み、生まれ変わる(羽化する)という想いを込め、歩羽化(VUCA)というテーマのもと、星陵祭を開催しました。

議会に一言

星陵高校では、探究学習を盛んに行っています。その一環として、アントレプレナーシップ(起業家精神)の育成やSDGsの達成に目を向け、問題解決につながるようなビジネスプランを考えています。

今年度の星陵祭で私のクラスでは、人口減少をテーマに考えました。富士宮市では人口減少対策も含め「町おこし」について、どのような政策を行っているのか、お伺いできる機会がありましたら幸いです。



▲星陵高校 生徒会の生徒さん

議会に一言へのお返事と編集後記

仲亀 恭平 委員

市では、少子高齢化や若者の流出により、産業や地域コミュニティの担い手不足が課題となってきました。これらを解決する手段のひとつとして、市内外の学生、社会人、移住希望者等をターゲットに、若者のアイデアの実践、起業などのチャレンジを支援する「エキマエ Challenge house CHILL IN(チリン)」が8月に開設されました。

若者の斬新なアイデアで富士宮を活性化させましょう!



笑顔のために

NO.435 令和6年9月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp